

3 研究の実践と考察

(2) 中学校の実践と考察

「特定の課題に関する調査(平成 21 年度実施)」からみられる課題について

表現の能力のうち、発想や構想の能力について「特定の課題に関する調査(平成21年度実施)」では、中学校美術科において、色や図の大きさ、配置のバランスから統一感のあるデザインを考え、表現できている生徒は約45%で、〔共通事項〕の視点による表現活動に課題があるとしています。この課題を解決するためには、形や色彩、材料などの性質やそれらがもたらす感情を理解したり、対象のイメージを捉えたりするなどの〔共通事項〕の視点を意識させる指導が必要であると考えます。また、「指導の改善事項」には、「表現の学習を充実させるために、他者と意見を交換するなどの言語活動を効果的に取り入れること」⁽⁵⁾が示されています。このことから、〔共通事項〕に含まれている造形的な特徴の中の形や色彩に焦点化し、形や色彩を意識させる創造活動を仕組むことにしました。さらに創造活動においては、「特定の課題に関する調査」の結果から、「A表現」のデザインに関わる活動に課題が見られたため、生徒に生活の中の造形や美術の働きを実感させる表現活動を行うことにしました。

以上のような「指導の改善事項」と課題から、本研究では、〔共通事項〕の視点を意識した言語活動を取り入れることとしました。

(5) 国立教育政策所 『特定の課題に関する調査—小学校図画工作・中学校美術—』 平成23年12月
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pamphlet/>

イ 授業の実際

「自分の街をデザインしよう！～誰にでも分かるマーク(ピクトグラム)づくり～」の実践において、形や色彩を意識した言語活動を取り入れた指導を通して、生徒の見方や考え方の深まりを検証しました。

本題材で目標としたピクトグラムの特徴と〔共通事項〕の関連付けは、表 1 の通りです。

表 1 本題材のピクトグラムの特徴

〔共通事項〕の視点	ピクトグラムの特徴 (誰にでも分かるデザイン)
形	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が無くても分かる形 ・単純化や強調した形 (離れた場所から見ても分かる形、情報の簡略化など)
色彩	<ul style="list-style-type: none"> ・対照トーンの配色 (離れた場所から見ても分かる配色) ・色を 2～3 色に限定

本題材において、学習活動の流れと言語活動の関連については、図 1 の通り行いました。

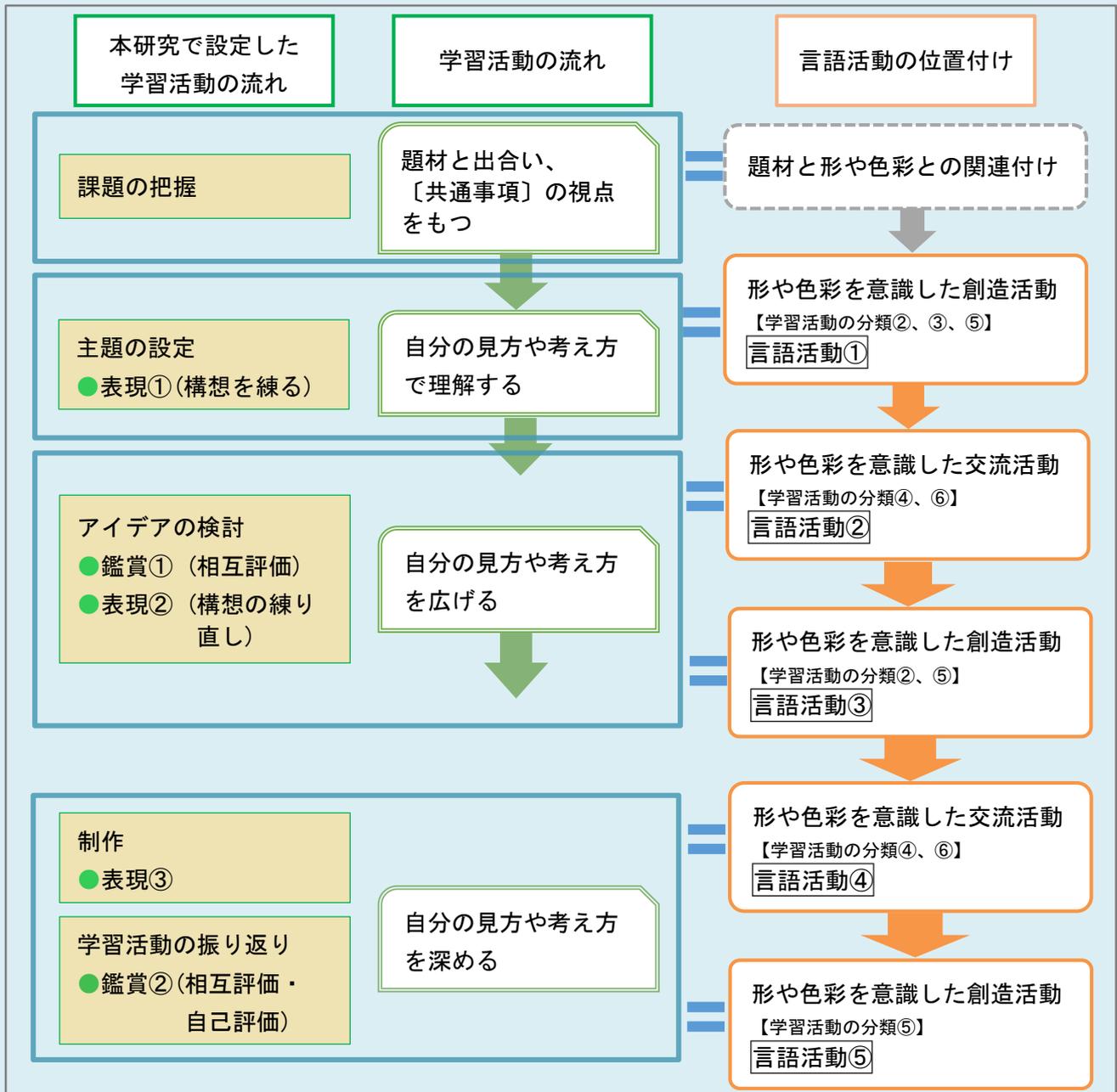


図 1 学習活動と言語活動との関連

1 題材名

自分の街をデザインしよう！～誰にでも分かるマーク（ピクトグラム）づくり～
第 2 学年 「A 表現(2)(3)」 「B 鑑賞」

2 題材の目標

- (1) 郷土のよさを多くの人に伝えるために、誰にでも分かるマーク（ピクトグラム）に留意してデザインをする。
- (2) 形や色彩の効果を考え、表したいイメージを基に表現方法を工夫する。
- (3) アイデアスケッチや作品について批評し合うなどの協同的な学びを通して、より良い創造を目指す主体的な態度を養う。

3 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p>① 郷土のよさに関心をもち、それらを分かりやすく伝えるために主体的に表現しようとしている。</p> <p>② 作品のよさを感じ取り、表現に込められた思いを自分の価値意識をもって主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p>① 対象の特徴を捉え、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさを考えて表現の構想を練っている。</p>	<p>① ピクトグラムの特性を理解し、表したいイメージをもって形や色彩の効果などを生かしながら表現している。</p>	<p>① より良い作品にするために、形や色彩を意識して批評し合い、改善点を見いだしている。</p> <p>② 作品のよさを感じ取り、表現に込められた思いを自分の価値意識をもって味わっている。</p>

4 指導と評価の計画(全3時間)

時数	学習のねらい「●」、学習活動「・」	評価規準「○」、評価方法
第1時	<p>1 課題の把握</p> <p>●伝達の表現について理解し、そのよさなどを味わう。</p> <p>・誰にでも分かるマーク(ピクトグラム)づくりについて理解する。</p> <p>・自分の街の自慢の特産品や観光地をアピールするためのデザインについて意見を述べ合う。</p> <p>・既習の内容を振り返り、題材と関連付ける。</p> <p>既習の内容「色の整理」、「配色の工夫」</p> <p>2 表現の発想・構想</p> <p>●対象の形や色彩の特徴などを捉えて、誰にでも分かるデザインを考えて発想し、構想を練る。</p> <p>・マークの統一感を図るために、グループで話し合い活動をする。</p> <p>・印象的に伝えるための形や色彩の効果を考え、アイデアスケッチをする。</p>	<p>○表現への意欲や態度 〈観察【関①】〉</p> <p>○主題を生み出し、構想を練っている。 〈ワークシート1、2【発①】〉</p>
第2時	<p>3 鑑賞</p> <p>●発想や構想の過程で批評し合い、デザインの改善を図る。</p> <p>・批評の視点に沿って改善を図る。</p> <p>視点1 表したいイメージを基に形や色彩の効果を考えてデザインしている。</p> <p>視点2 誰にでも分かるデザインになっている。</p> <p>4 表現の発想・構想</p> <p>●批評を基に、構想を練り直す。</p>	<p>○鑑賞への意欲や態度 〈観察、ワークシート2【関②】〉</p> <p>○主題を表現するための形や色彩などの工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって批評している。 〈ワークシート2【鑑①】〉</p> <p>○批評を基に、構想を練り直している。 〈ワークシート2【発①】〉</p>

<p>第 3 時</p> <p>5 制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表したいイメージを基にマーク（ピクトグラム）を制作する。 ・アイデアスケッチを基に、表現方法を工夫して色紙で作成する。 <p>6 鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●完成した作品を互いに鑑賞する。 ・マークの主題や工夫を発表し、互いの作品のよさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ピクトグラムの特性を理解し、形や色彩などの効果を生かして、対象を分かりやすく表現している。 〈ワークシート 3 【創①】〉 ○鑑賞への意欲や態度 〈観察【関②】〉 ○〔共通事項〕の視点で作品のよさを鑑賞している。 〈ワークシート 4 【鑑②】〉
---	--

5 授業の実際

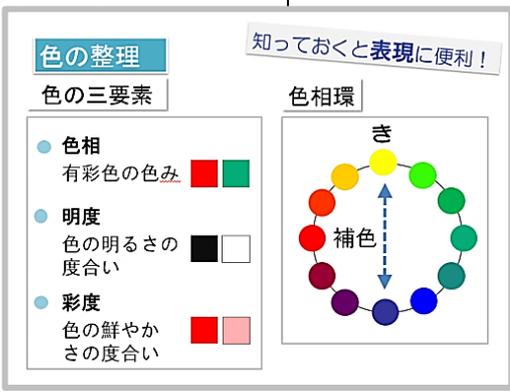
第 1 時

1 学習の目標

- ・自分の街の特産品や観光地に関心を持ち、構想を練ろうとする。 【関心・意欲・態度】
- ・伝えたい主題を明確にして、アイデアスケッチを考える。 【発想や構想の能力】

2 授業の実際

過程	学習活動の内容	指導の手立て	評価規準(◇〈見取り【観点】〉と支援(▽))
<p>導入</p>	<p>1 本時の学習を確認する。</p> <p>[ワークシート 1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの表現について知る。 ・主題の選択をする。 ・形や色彩の効果的な表現の確認をする。 ・既習の内容を振り返る(資料 1)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の街の特産品や観光地のよさについて画像を提示して振り返らせる。 ○ピクトグラムの表現と形や色彩の効果的な表現について提示し、確認させる(資料 2)。 ○既習の内容を今回の学習に生かすことを伝える。 「色の整理」「配色の工夫」 	<p>評価規準(◇〈見取り【観点】〉と支援(▽))</p>



資料 1 色彩の学習の振り返り



資料 2 形や色彩の効果とピクトグラムの関連付け(電子黒板での提示)

展 開	自分の街の自慢のものをマーク(ピクトグラム)にしよう！			
	<p>2 アイデアスケッチをする。 [ワークシート 1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マークづくりの留意点を確認する。 ・「街のイメージ」についてグループで話し合う。 ・街を訪れた「誰にでも分かる」デザインにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習活動の分類②、③、⑤】</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">言語活動①</p> </div>	<p>○マークづくりの留意点を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 1 「アイデアスケッチのポイント」 <p>形・色彩 [共通事項] の視点を意識させる。</p> <p>イメージ 「自分の街」についてグループで共通のイメージをもたせ、デザインに統一感を図る。</p>	<p>◇表したいイメージをもち、ピクトグラムの表現を考えている。</p> <p>〈観察、ワークシート 1【関・発】〉</p> <p>▽「アイデアスケッチのポイント」をワークシートや板書で示唆する(資料 3)。</p>	
<p>(3) 話し合った内容を基に、アイデアスケッチをしましょう。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">「誰にでも分かる」マークにするためのアイデアスケッチのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●統一感 ・グループで共通する形を使う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の街」をイメージする形をマークの枠にする。 ・使用する場所を考えて、誰にでも分かるデザインにする。 ●形 ・枠の形(グループ)と担当の形(個人)をデザインする。 <ul style="list-style-type: none"> ・デザインするモノの特徴が分かるように単純化や強調をする。 (美術資料 P 58 参照) ※定規やコンパスなどを使用してもよい。 ※色紙で制作するため、線は太く表現する。 ●色彩 ・デザインするモノの特徴が分かるように、配色を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・使用する色は、白、黒を含む 2 色～3 色とし、配色の効果を生かす。 (美術資料 P 50～51 参照) ※色鉛筆で配色計画をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">自分の街のイメージ (グループで考える。)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: small;">自慢のもの (個人で考える。)</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">資料 3 形や色彩を意識したマーク(ピクトグラム)づくりの留意点(ワークシート 1)</p>				<p>グループでデザインの統一感を出すために、共通の枠の形とした。</p>
ま と め	<p>3 本時を振り返る。</p>	<p>○伝えたい主題についてワークシート 1 にまとめさせる。</p>		

第 2 時

1 学習の目標

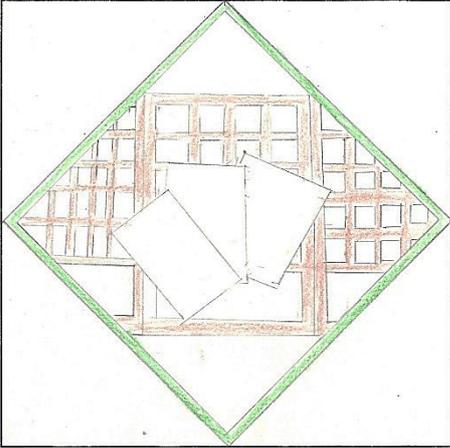
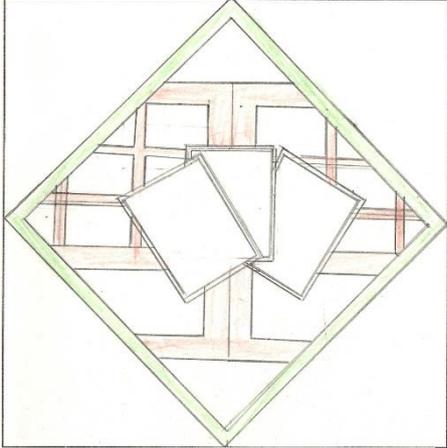
- ・主題を分かりやすく伝達する表現の工夫に関心をもち、主体的に感じ取ろうとする。【関心・意欲・態度】
- ・批評を基に、構想を練り直している。【発想や構想の能力】
- ・主題を表現するための形や色彩などの工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって批評する。【鑑賞の能力】

2 授業の実際

過程	学習活動の内容	指導の手立て	評価規準(◇〈見取り【観点】〉)と支援(▽)
導入	<p>1 前時の学習を振り返る。 [ワークシート1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの留意点の確認をする。 ・選択した主題の確認をする。 ・形や色彩の効果的な表現の確認をする。 ・グループの共通するデザインの確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の街の特産品や観光地のよさについて振り返らせる。 ○マークづくりの留意点を示す。 ・ワークシート1「アイデアスケッチのポイント」 形・色彩〔共通事項〕の視点と関連させる。 統一感グループで考えたイメージを確認させる。 ・形や色の効果的な表現とピクトグラムの関連を想起させる。 [掲示物、ワークシート1] 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>誰にでも分かるマークにしよう！～形と色彩の効果を生かして～</p> </div> <p>2 アイデアスケッチを確認する。 [ワークシート1]</p> <p>3 アイデアスケッチについて批評し合い、改善点を見いだす(資料4)。 [ワークシート1、2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアスケッチを紹介する。 ・より良い作品になるように、相互に改善点を検討する。 <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習活動の分類④、⑥】 言語活動②</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○導入で確認したことに留意させ、アイデアスケッチを仕上げさせる。 ○批評の視点を示す。 ・ワークシート1「アイデアスケッチのポイント」 視点1 対象のイメージを基に形や色彩の効果を考えてデザインしている。 視点2 ピクトグラムの特徴に留意し、誰にでも分かるデザインになっている。 視点3 制作方法を考慮したデザインになっている。 	<p>◇主題を分かりやすく伝える表現の工夫に関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p>◇主題を表現するための形や色彩などの工夫を感じ取り、自分の価値意識をもって批評している。 〈観察、ワークシート2【関・鑑】〉</p> <p>▽批評の視点をワークシートや板書で示唆する(次頁資料5)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの特徴となる形や色彩 ・制作方法



資料4 改善点を検討している様子

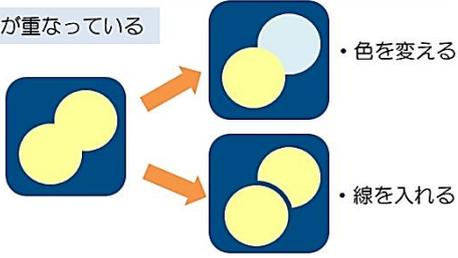
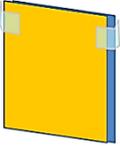
<p>展開</p>	<p>3 デザインの検討 16分</p> <p>グループで工夫点や改善点の話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 統一感 ● 形 ● 色彩 <p>（「アイデアスケッチのポイント」を参考）</p> <table border="1"> <tr> <td>メンバー 氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>統一感 (青)</td> <td>書いてもらった付箋は、ここに貼ろう</td> </tr> <tr> <td>形 (ピンク)</td> <td>そう思う「理由(根拠)」を詳しく書く</td> </tr> <tr> <td>色彩 (黄)</td> <td></td> </tr> </table>	メンバー 氏名		統一感 (青)	書いてもらった付箋は、ここに貼ろう	形 (ピンク)	そう思う「理由(根拠)」を詳しく書く	色彩 (黄)		<p>[批評の例]</p> <p>形 ・もっと人と白玉まんじゅうを大きくしていいと思う。</p> <p>色彩 ・お月見みたいだから、黄色とかいいかも。</p>	
	メンバー 氏名										
統一感 (青)	書いてもらった付箋は、ここに貼ろう										
形 (ピンク)	そう思う「理由(根拠)」を詳しく書く										
色彩 (黄)											
<p>資料 5 批評の視点と留意</p> <p>4 作品を改善する。</p> <p>[ワークシート 2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも分かる形や色彩を意識して作品を改善する。 ・制作方法に留意して、輪郭線を整理する。 <p>【学習活動の分類②、⑤】</p> <p>言語活動③</p>	<p>○批評を基に、作品を改善させる。</p> <p>統一感 グループで共通させるデザインを確認させる。</p> <p>形 対象の特徴を見直し、輪郭線を整えさせる。</p> <p>色彩 対象の特徴を見直し、印象に残る配色をさせる。</p>	<p>◇批評を基に、イメージやピクトグラム視点で作品を改善している。</p> <p>〈ワークシート 2【発】〉</p>	<p>資料 6 批評を基に改善を行った作品</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin: 0 20px; text-align: center;"> <p>アイデアの改善</p>  </div>  </div> <p>[形]の批評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を少なくしたほうがいいよ。 								
<p>まとめ</p>	<p>5 本時を振り返る。</p> <p>[ワークシート 2]</p>	<p>○批評がどのように作品に活かされたのか振り返らせる。</p> <p>○次時に、アイデアスケッチを基に作品を制作することを伝える。</p>	<p>◇批評後の作品の変容を読み取ろうとしている。</p> <p>〈ワークシート 2【鑑】〉</p>								

第 3 時

1 学習の目標

- ・作品のよさを感じ取り、表現に込められた思いを自分の価値意識をもって主体的に感じ取ろうとする。
【関心・意欲・態度】
- ・ピクトグラムの特性を理解し、形や色彩などの効果を生かして、対象を分かりやすく表現する。
【創造的な技能】
- ・〔共通事項〕の視点で作品のよさを鑑賞する。
【鑑賞の能力】

2 授業の実際

過程	学習活動の内容	指導の手立て	評価規準 (◇〈見取り【観点】〉)と支援(▽)
導入	<p>1 本時の学習を確認する。 [ワークシート 3] ・作品の制作方法を確認する。</p>	<p>○作品制作の留意点を提示し、見通しをもたせる(資料 7)。 ・材料(色紙)の選択 ・道具(カッター)の使い方</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>3 マークの制作 20分</p> <p>制作に入るその前に確認しましょう。</p> <p>形が重なっている</p>  <p>・色を変える ・線を入れる</p> <p>分かりやすいマークにするために!</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>3 マークの制作 20分</p> <p>制作の手順</p> <p>① アイディアスケッチの色彩に近い色を色紙から選ぶ。(白、黒を含む 2~3色) ② 色紙を重ねて、端をテープで止める。</p>  </div> </div> <p>資料 7 作品制作の留意点(電子黒板で提示)</p>			
展開	<p>2 作品制作をする。 [ワークシート 3] ・材料(色紙)を選択する。 ・アイデアスケッチを色紙に転写する。 ・道具(カッター)の使い方に配慮して作成する。</p>	<p>○デザインに近い材料を選択させる。 ○材料を切るときの留意点を想起させる。</p>	<p>◇イメージを基に材料を選択し、表現方法を工夫して制作をしている。 〈ワークシート 3【創】〉 ▽参考作品を提示して活動を促す。</p>

まとめ	<p>3 作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の作品を紹介する。 他のグループと相互に評価し合う。 <p>【学習活動の分類④、⑥】 言語活動④</p> <p>4 制作を振り返る。 【ワークシート 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作について自己評価をする。 <p>【学習活動の分類⑤】 言語活動⑤</p>	<p>○〔共通事項〕の視点を意識させて鑑賞活動を行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩などの工夫点 ピクトグラムとしての完成度（誰にでも分かるマーク） <p>統一感 グループ共通のイメージ</p> <p>形 単純化、強調</p> <p>色彩 対照トーンの配色</p> <p>○作品についての思いを伝え合わせる（資料 8）。</p> <p>【作品への思い（ワークシートの記述より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和紙をイメージして、昔からありそうな色を使いました。黄色は和紙、赤は花をイメージしました。色彩 山の中にあるみかんをイメージして、とってもおいしいオレンジが目立つように配色を考えました。色彩 いかにもみかんが飛び出てきそうにしたところが一番のポイントです。形 <p>資料 8 形や色彩を意識した活動の振り返り</p>	<p>◇ピクトグラムの特性を基に、形や色彩などの〔共通事項〕の視点で作品のよさを感じ取っている。</p> <p>◇作者の意図と創造的な表現の工夫を味わっている。 〈ワークシート 3、4【関・鑑】〉</p>
-----	---	---	--

ウ 授業の考察

考察の視点

表現活動の発想や構想の段階に焦点を当て、〔共通事項〕を支えとした生徒の見方や考え方を深める手立てを取り入れた研究を行いました。この手立ての有効性について、以下の(ア)～(エ)の4点を視点に考察します。

●考察の視点

- (ア) 電子黒板、黒板、掲示物は生徒に形や色彩の視点をもたせるために有効であったか。
- (イ) ワークシートは、生徒が自分の見方や考え方をもつのに有効であったか。
- (ウ) 批評し合う活動（交流活動）は、生徒が自分の見方や考え方を広げるのに有効であったか。
- (エ) 形や色彩を意識した振り返りは、生徒が自分の見方や考え方を深めるのに有効であったか。

- (ア) 電子黒板、黒板、掲示物は生徒に形や色彩の視点をもたせるために有効であったか。

ピクトグラムの特徴について、生徒が形や色彩を意識して捉えることができるように、ワークシートにアイデアスケッチの留意点を示し、掲示物等で内容の補足説明を行いました(次頁資料 9)。

電子黒板では、昭和39年の東京オリンピック及び平成28年のリオオリンピックで使用のピクトグラムや日常生活で使用されているピクトグラム(資料10)など、具体的な使用例を提示しました。また、アイデアスケッチの留意点を既習の内容と関連させて図で提示することで、ピクトグラムをイメージすることができなかった生徒は、身近に使用されているデザインとしてピクトグラムを捉えたり、制作の手順を詳細に捉えたりすることができました。

● **色彩** デザインするモノの特徴が分かるように、配色を考える。(白、黒を含む2色～3色)
 ※色鉛筆で配色計画をする。
 (美術資料P50～51参照)

使用している色数は?
 色の面積も考えよう
 色は自分のイメージで決めよう

資料9 作品制作の留意点(電子黒板で提示)

- 遠くからでも分かる
- 文字が読めなくてもわかる

使用する場所の例

商品パッケージ
 店舗の中
 地図

資料10 日常生活で見られる使用例(電子黒板で提示)

(イ) ワークシートは、生徒が自分の見方や考え方をものにつのに有効であったか。

本研究では、表現活動の発想や構想の段階でアイデアの根拠となる考えを整理し、明確にものつことができるように、学習の目標を〔共通事項〕の視点に関連付けてワークシートに提示しました。このことにより、生徒は主題を形と色彩に絞って考え、整理し、言葉やアイデアスケッチなどで考えや思いを表現することができました。また、アイデアの変容を生徒が可視化することは、学習活動を自己評価することにつながると考え、批評し合う活動の前と後の2回に分けて2箇所アイデアスケッチを行わせました。アイデアスケッチの1回目は、主題を大まかに表現するラフスケッチとし、2回目は、評価を参考にして改善をした作品の下描きにしました(資料11)。

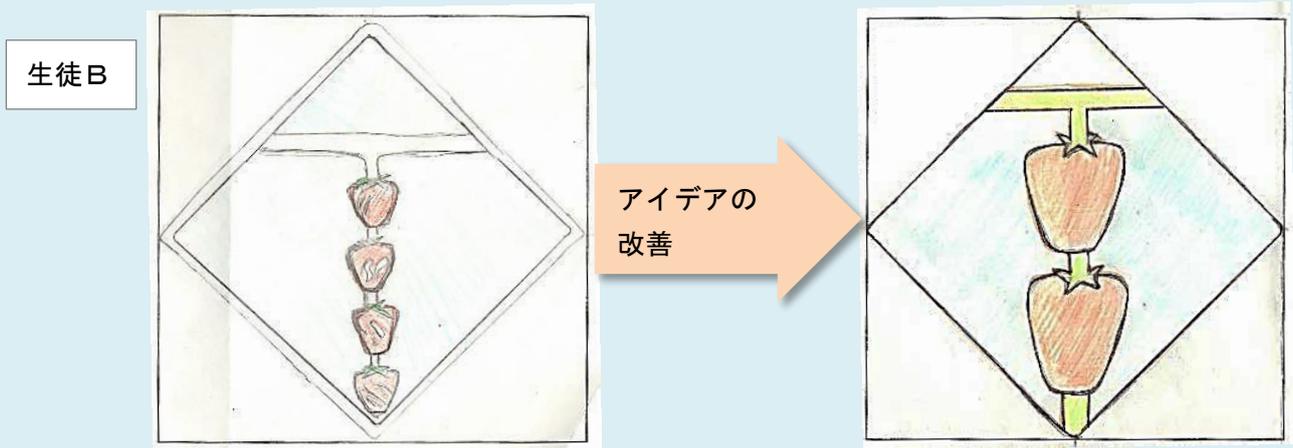
生徒が、形や色彩を意識して考えや思いを言葉や絵に表現するように、発問の随所に〔共通事項〕の視点を取り入れました。

批評し合う活動前の
アイデアスケッチ(ラフスケッチ)

批評し合う活動後の
アイデアスケッチ(作品の下描き)

生徒A

アイデアの改善



資料 11 学習活動と言語活動との関連付けの実際

資料11の生徒Aと生徒Bは、ピクトグラムの特徴と形や色彩を関連付けて思考したり、批評し合う活動において、ワークシートの記述を基に自分の見方や考え方をもって他者と意見を交流したりすることができました。

(ウ) 批評し合う活動(交流活動)は、生徒が自分の見方や考え方を広げるのに有効であったか。

作品をより良いものにするためにアイデアスケッチを評価し、生徒に改善させました。評価するためには、多様な価値と出合わせることが有効であると考え、その活動として、批評し合う活動を取り入れました。形について、生徒Aは「情報を少なくした方がよい」という評価を参考にし、机の格子を削除したり、食べ物がおいしいことを満腹になった人の表現に変えたりして単純化や強調をし、アイデアの改善をしていました(資料11)。色彩について、「お月見みたいだから、黄色とかいいかも。」という評価で、当初の配色は白と黒のデザインから背景に黄色を加えていました。活動後の感想から、批評し合う活動を通して、他者の考えのよさに気付いたり、他者の評価が作品の改善につながったりしたことが分かります(資料12)。批評し合う活動で、形や色彩を意識させる発問を仕組むことにより、生徒は自分の考えを整理し、言葉や絵に表現することができました。

- ・グループでの制作では、一生懸命楽しく制作ができたと思います。
- ・配色方法では、表すのが難しく、友達からアドバイスをもらってできたのでよかったです。
- ・なかなか進まなかったが、同じ班の人にアドバイスをもらって、初期からどんどん改善してピクトグラムらしく簡単なものにできた。
- ・話し合いなどで、より良い案がたくさんできてよかった。
- ・一人一人いろいろなデザインや考えがあって、楽しかった。
- ・制作の時に班の人がアドバイスをくれたのでうれしかったです。

他者の評価を作品の改善につなげることができた記述

批評し合う活動のよさに関する記述

資料 12 批評し合う活動に関する生徒の感想

(E) 形や色彩を意識した振り返りは、生徒が自分の見方や考え方を深めるのに有効であったか。

本研究では、発想や構想の段階で批評し合う活動の前後にアイデアスケッチを設定し、アイデアスケッチを改善することで、形や色彩を意識した振り返りを行わせました。資料 6 の生徒は、他者の形について「情報を少なくした方が良い」という評価で、背景の障子を減らし、形について見直していました。資料 11 の生徒 B は、ピクトグラム形の視点から、形を見直して干し柿の数を減らしたり、色彩の視点から、干し柿に使用しているだいたい色が目立つように、干し柿以外に対照色相となる黄緑や水色を使用し、配色を見直したりしていました。

エ 中学校美術科における成果と課題**成果**

本研究では、生徒の見方や考え方を深めるために、学習過程に形や色彩を意識させる言語活動を取り入れました。具体的には、発想や構想の段階で生徒が、形や色彩を意識して制作をしたり、批評し合ったりすることができるように、電子黒板やワークシート等を通して指示をしました。このことで、生徒は形や色彩を意識して思いや考えを整理し、見方や考え方を深めることができました。

(7) 形や色彩の視点をもたせるための電子黒板、黒板、掲示物の活用について

電子黒板や掲示物等を活用して、制作の手順やワークシートで伝えることが難しい色彩について具体的に提示しました。このことは、生徒の活動内容を明確にし、見通しをもって活動を行わせることにつながりました。

(4) 形や色彩を意識したワークシートの工夫について

生徒が、思考を整理し、学習のまとめとなるようなワークシートを作成しました。形や色彩を意識した表現活動を行うときの視点を随所にワークシートに示すことで、生徒は、学習目標を確認しながら活動を進めることができました。また、ポートフォリオにすることで学習の達成度を可視化し、生徒の自己評価へつなげることができました。

(ウ) 形や色を意識させた批評し合う活動(交流活動)について

交流活動となる批評し合う活動を取り入れました。生徒は、他者と交流するときに形や色彩を意識することで同じ視点で思いや考えを交流することになり、多様な価値に気付かせることができました。批評し合う活動で生徒は、多様な価値に気づき、見方や考え方を広げました。

(I) 学習の振り返りの工夫について

批評し合う活動後に評価を参考にして表現活動に取り組むことで、生徒は形や色彩を意識して繰り返し構想を練ることになり、見方や考え方を深めることができました。

課題

[共通事項] の視点で創造活動をするためには、形や色彩などの性質やそれらがもたらす感情を理解し、活用させることが大切になります。生徒が、[共通事項] の視点を基に、自分の感じ方で形や色彩

などを捉え表現に生かすためには、学習過程の各場面において〔共通事項〕の視点に基づいた学習活動を行うことが必要です。今後も、形や色彩を意識した創造活動を支えるために資料及びワークシートの作成とそれを用いた提示の方法について継続して探っていきたいと思います。